

製品名: 切断型カテプシン A 32k (R326) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08972**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 33kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CTSA |
| 別名 | CTSA; PPGB; Lysosomal protective protein; Carboxypeptidase C; Carboxypeptidase L; Cathepsin A; Protective protein cathepsin A; PPCA; Protective protein for beta-galactosidase |
| 遺伝子 ID | 5476.0 |
| SwissProt ID | P10619 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト PPGB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 277-326 |

背景

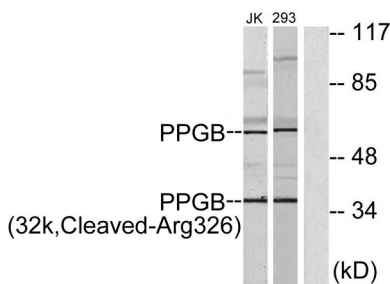
この遺伝子は、セリンカルボキシペプチダーゼのペプチダーゼ S10 ファミリーに属する酵素をコードする。選択的スプライシングに

より複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはプレプロタンパク質をコードしており、このタンパク質はタンパク質分解によって2本の鎖に分解され、ヘテロ二量体の活性酵素を構成する。この酵素は、脱アミダーゼ活性、エステラーゼ活性、カルボキシペプチダーゼ活性を有し、リソソーム多酵素複合体の足場として機能する。この遺伝子の変異はガラクトシアリドーシスと関連している。[RefSeq 提供、2015年11月]、触媒活性：広い特異性を持つC末端アミノ酸の遊離。疾患：CTSAの欠陥はガラクトシアリドーシスの原因である[MIM:256540]。常染色体劣性疾患です。機能：保護タンパク質はβ-ガラクトシダーゼとノイラミダーゼの両方の活性に必須であると考えられており、これらの酵素と会合して、それらの安定性と活性に必要な保護機能を発揮します。このタンパク質はカルボキシペプチダーゼでもあり、タキキニン脱アミド化することができます。類似性：ペプチダーゼS10ファミリーに属します。サブユニット：32 kDa鎖と20 kDa鎖のヘテロ二量体で、ジスルフィド結合しています。

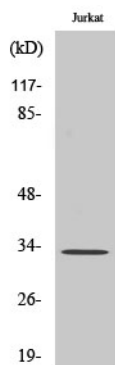
研究分野

リソソーム;レニン-アンジオテンシン系;

画像データ



エトポシド 25 μ M で1時間処理した293細胞およびJurkat細胞のライセートをPPGB (32k, Cleaved-Arg326)抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



切断型カテプシンA 32k (R326)ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析